

# 田代よいとこーその21ー 映画と田代

## ◆「人生劇場 残侠風雲篇」

田代地区は、風光明媚なところから映画のロケ地になったことがしばしばありました。下の写真をご覧ください。これは、佐分利 信(さぶりしん)監督、出演の東映映画「人生劇場 残侠風雲篇」の撮影が、大矢繁吉さん宅で行われたときの出演者とスタッフ、地元協力者達の記念写真です(昭和27年11月撮影)。田代にお住まいの内山トキさんからお借りしました。



中央和服姿が佐分利 信、向かってその右が徳大寺 伸、その右セーター姿が舟橋 元(サインも舟橋元) その右が大矢すゞ子さん。内山さんは一番左の女性。内山さんの右が 大矢糸ひさん。その右が北林谷栄。(俳優は便宜上、敬称略。糸ひさんは繁吉氏の妻、すゞ子さんは養女)

## ◆『人生劇場第2部 残侠風雲篇』とは

『人生劇場』は尾崎士郎の自伝的大河小説。愛知県吉良町から早稲田大学に入った主人公青成瓢吉(あおなりひょうきち)の青春とその後を描いた長編小説。幾度も様々な監督によって映画化された。「残任篇」は昭和28年(1953)2月19日公開の東映映画。主人公・瓢吉役は舟橋元、その父親・瓢太郎を佐分利信が演じた。出演者は、写真の俳優のほかに月形竜之介、高峰三枝子、笠 智衆、片岡千恵蔵等、錚々たるメンバーだった。

## ◆ロケの時のお話く内山さん談>

多くの田代住民がエキストラで出演した。内山さんも2回くらい出た(当時28才)。夜、大矢さんの家に行ったら廊下にレールが敷いてあった(カメラ用か)。近所のおばあさんたちがお念仏を唱えている場面(佐分利 信扮する人物が亡くなる所)にエキストラで出た。

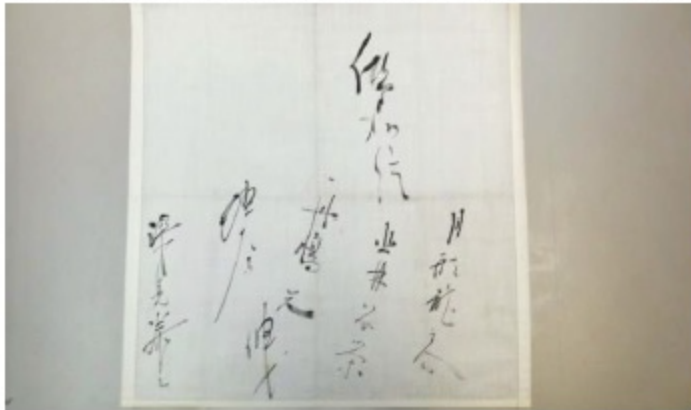
## ◆出演者について

◎佐分利 信：戦前の松竹の看板俳優。戦後は監督業に進出の傍ら、テレビドラマにも出演。重厚な演技を見せた。「日本の首領」「華麗なる一族」など出演作多数。1982年没(73才)

◎舟橋元：「燃えよ剣」「ウルトラマン」等多くの映画、テレビに出演。1974年没(43才)

## ◆その他のロケ

山城新伍主演「白馬童子」もロケが行われたとのこと。また、これは半原の石小屋ですが、「長崎の鐘」という映画の原爆シーンに溪谷の一部が使われたということをお聞きしました。その他、田代でのロケについてご存知の方がいらっしゃいましたら教えてください。【取材協力：内山トキさん、山口秀雄さん、大矢祐子さん】



## 田代よいとこ～その21～ 「映画と田代」こぼれ話

前号で、田代が映画「人生劇場 残侠風雲篇」のロケ地になったというお話をしました。その折にはご紹介できなかったのですが、大矢祐子さんから、出演者の寄せ書きを見せていただきました。左の写真がそれです。ちょっとわかりにくいのですが、一番上に佐分利信、下段右から月形龍之介、北林谷栄、船橋元、徳大寺伸、深見泰三の名前が読めます。